

専門家インタビュー

ここに座っている。お話をする。
全部が造形です。

野村昌司（観世流シテ方能楽師）

臨床美術学会 第12回大会 2021報告

臨床美術士を訪ねて

臨床美術士の活動に対して
感謝状が送られました！

参加費無料オンラインイベントのお知らせ

協会からのお知らせ

指定校・芸術造形研究所からのお知らせ



アートプログラム：扇面ゆるりさんぽ

ここに座っている。
お話をする。
全部が造形です。

専門家インタビュー



能楽師 野村昌司

(観世流シテ方／重要無形文化財総合指定保持者)

去る2月1日、「能をたしなむ」というテーマで、能楽師の野村昌司さんをお迎えして、日本臨床美術協会主催のオンライン講座が開かれました。講座では、能に欠かせない型や音を「造形として捉える」というお話がとても斬新でした。では臨床美術士が活躍する上で、どのようなヒントが能にあるのか。講演後にうかがいました。

聞き手：大倉葉子(日本臨床美術協会理事)、蜂谷和郎(日本臨床美術協会常任理事)

能の所作を、造形として捉える

蜂谷 講演の中で「強そうに見える型」というお話がありました。臨床美術士は人前に立つ仕事です。その時、自信があるように見えるには、何か型のようなものはあるのでしょうか？

野村 私もこのオンライン講座をお引き受けした時は、自信がありませんでした(笑)。でも「間違ってもいいや」と聞き直ったのです。舞台に出る時も、幕が開くまではとても不安です。幕が開いたらパツと聞き直る。自分が鍛錬したものが出るだけだという感覚で演じています。

大倉 能楽堂の場合は、客席の照明を落とさないの、お客様の顔がはっきり見えますよね？ 余計緊張するのではありませんか。

野村 顔は見えますね。面(おもて)をつけていればまだいいのですが、直面(ひためん)で演じる演目だと、お客様と目が合ってしまうこともあります。するとお客様が「ひえっ」みたいな表情をされるんです。だから直面の時は、一点を凝視してはいけません。全体をぼんやり見るようにすると、穏やかな顔になります。

大倉 今回「能における手の造形」というお話がありました。謡いを合唱する地謡(じうたい)の人たちは、謡っていない時は袴の中に手を入れていますね。あれはどのような意味が…

野村 舞台上で袴に手を入れるというのは、そこに存在しないという意味なんです。いてもいない。それが手を納めるということです。

大倉 私は日本画の出身ですが、人物を描く場合「手はしゃべるから気をつけろ」と教わりました。手にポーズを付けると、そこに意味が生じてしまう。

野村 そうだと思います。能では手に意味を持たせないために、基本的に指をそろえて所作をすることで人目を引かないようにするのです。

大倉 お話の中でなるほどと思ったのが、能にはいろいろな型があって、例えば「眠っ



てます」を表現するには、閉じた扇を頭の横に掲げる。座って扇を掲げるだけなのに「寝てるな」というのが伝わってきます。

野村 この時の扇は、枕の代わりです。それでちょっと上半身を傾げるだけで寝ているように思えるんですね。これも体の具現化の1つ。寝るという造形です。今回、型というぼくらの固定概念を、造形という視点で捉え直してみようと思いました。型も造形なら、声も造形として考えることができる。発見でした。

蜂谷 音を造形として捉えるお話。すごく面白かったです。

野村 能の音階というのは、上中下だけなんです。ドのシャープみたいに、点で固定されていない。だから人によって、ふり幅が全然違う。逆に言えば、応用が利くということです。高低の間の空間をどう作るか。これも造形ですね。

個性とは、型の中で遊ぶこと

大倉 能におけるお囃子は伴奏ではない。むしろセッションに近いということをどなたかがおっしゃっていました。

野村 駆け引きみたいなのは確かにあります。「こういう風に謡いたい」という若手の意思を感じて、受けてくださる先輩もいらしゃいます。ベテラン同士の駆け引きとなると、すごく高次元な話になってきます。うちの父[※]が地頭(謡の統率者)で、お囃子を偉い先生がやる。すると「四郎ちゃんそう謡いたいのか。じゃオレはこういうふう^{じがしら}に打つ」。それを聞いた親父が「あ、こう打つんだ。それならこういう風に謡ってやろう」。ほんとにセッションです。

※観世流シテ方音楽師で人間国宝に認定された故・野村四郎氏

大倉 ライブですね！

野村 このセッションも音の造形と考えると面白いですね。ライブだからこそ味わえる造形のフュージョン。実は最近の私の能は、非常に定型に当てはめようという感覚が強かったように思います。でも本当はフュージョンなども好きなんだということを、この講演を通して思い出しました。それは定型から飛び出すということではなく、定型をどう遊ぶか。枠組みの中で自分をどう遊ばせるか。型を破った行いは個性ではないとぼくは思っているんです。

蜂谷 臨床美術士も同じことがいえますね。

野村 何十回も謡ってる曲でも、思い出して確認して、緊張しながら舞台に出ます。「この曲はよくわかってるからいいや」じゃないんです。1つの舞台は1回しかないの、その1回をどれだけ大切にできるかだと思います。

大倉 今日は「体による造形」というお話がほんとうに新鮮でした。

野村 今ここに座っているのも造形ですからね。自信なく見えるというお話がありましたが、それは背筋かもしれません。顎を引くと背筋が伸びてピンツとして、自信があるように見えます。こうなると声は小さくてもいいのです。逆に自信がない人ほど、見下して抑えたいと思うのか、顎を上げやすい。声も大声になる。

それでも自信が持てないなら、不安材料を取り除けばいいと思います。例えば全部シナリオにして文字起こしする。それだけでぜんぜん違います。疑問や不安もそこに出てくるので、付け足していけばいいんです。とはいうものの…ぼくは大学などの講義ではシナリオはあらずじだけ(笑)。その場の空気感で話してしまうので、脱線したまま戻ってこないこともあります(笑)。

大倉 ライブですね(笑)。

野村 先日也和歌について話すつもりが、これは恋文だという話になって、恋文横丁の話になって、戻ってこれなかった(笑)。この鼎談も脱線しないでお話できるか、ちょっと心配でした。

蜂谷 ためになるお話をたくさん聞かせていただきました。

大倉 ずっとお聞きしたいです。本日はありがとうございました。



「屋島」で源義経を演じる野村昌司さん

今年度はオンラインという新たな形で11月14日に臨床美術学会大会が開催されました。基調講演、シンポジウム、研究発表が行われ、112名の参加がありました。大会後にはオンラインでの全国交流会も開催され、臨床美術士同士のコミュニケーションの場も設けられました。

今年度の大会テーマは「臨床美術～作品世界とメッセージ～」と題され、臨床美術の作品に焦点が当てられました。なぜ臨床美術で生まれる作品は光り輝き、エネルギーに満ち溢れているのか、そんな作品群が生まれる場に関わる臨床美術士の役割や意味、制作者の感性を引き出し、能動的な表現に導くアートプログラムの魅力や場づくりなどについて、さまざまな分野の先生方をお迎えいたしました。

《 基調講演 》

基調講演は、国立精神・神経センター病院、吉岡リハビリテーションクリニック等で精神科の医師として長年にわたり認知症の方々に関わってこられた宇野正威先生に、「内的精神活動を活性化させる臨床美術」というテーマでご講演いただきました。マインドワンダリング(MW)と言われる状態や、作品制作=表現活動をする際に重要となる内的精神活動を担うデフォルトモードネットワーク(DMN)と呼ばれる神経ネットワークについて、また臨床美術士の声かけによって、患者さんの内的精神活動がサポートされ作品

を完成させることができるという指摘もありました。臨床美術の制作は『現在』と『未来』の間の行き来を最大限に生かし、内的精神活動の衰えを防ぐことにつながっており、リハビリテーション的な価値を持つのではないかとこの考察は、臨床美術士にとっても励みとなる内容でした。

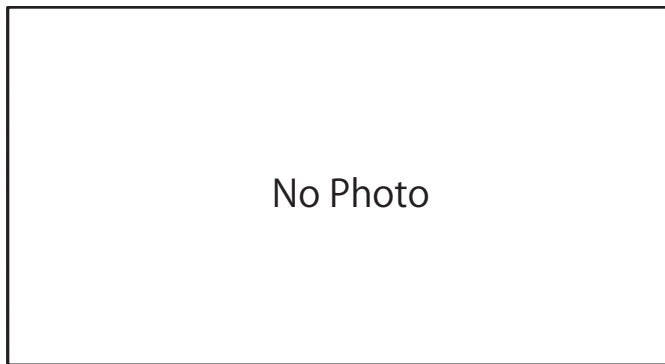


《 シンポジウム 》

シンポジウムでは、3名のシンポジストをお迎えし、東北福祉大学の青木一則先生がコーディネーターを務め進行されました。1人目の京都府立医科大学教授・脳神経内科医の水野敏樹先生は同大学で、日本臨床美術協会の登録団体、京都<臨床美術>をすすめるネットワークと共に2009年から認知症・軽度認知障害の患者さんとご家族に臨床美術を実施されてきました。国際アルツハイマー病協会国際会議や日本認知症学会でもワークショップを開催するなど多くの方々に臨床美術の紹介をしてくださっています。参加者の作品画像を紹介しながら臨床美術士の声掛け

によって自身の中にある思いやイメージが作品に表出していくことの本人にとっての意義、また作品は非言語のコミュニケーションツールとして存在し、介護者との関係性をも変えていく力があることが語られました。2人目は臨床美術協会・学会副会長の山田修市先生が、自身の作家としてのあゆみと共に作品を紹介され、それらを通して芸術=表現活動や臨床美術の社会における役割や意義について投げかけられました。最後は東広島市立美術館館長、臨床美術学会理事の松田弘先生が、一般的に言われている“美術”の捉え方や在り方を踏まえながら、それらと照らし合わせるような形で臨床美術の特徴や魅力について述べられました。誰もが参加でき、誰の目も気にすることなく自身の思いを素直に表現した臨床美術の作品がもつ力やメッセージ性が、今後美術という分野においてどのような影響を及ぼしていくかは未知数であり、さまざまな場を得ることによって新たに変わっていく可能性があるのではないかと語られました。

基調講演、シンポジウムを通して、臨床美術の作品がもつ大きな力や魅力を感じると共に、それらが生まれていく過程において臨床美術士の役割や可能性をあらためて考えるきっかけとなりました。



《 研究発表 》

午後のプログラムでは臨床美術士によるさまざまな取り組みや研究者による発表が5件行われました。(発表者、演題は表を参照)

研究発表 一覧

テーマ	発表者
「生活支援相談員に対する臨床美術の試み ～被災者支援を行う生活支援相談員に対するケアを考える～」	小野寺 良枝 (yoshi クリニカルアート研究室) 藤本 緑 (国際NGO 特定日営利活動法人オペレーションプレッシング・ジャパン)
「臨床美術士の実践知形成へ向かうプロセス ～修正版グラウンディット・セオリー・アプローチ分析を通して」	伊藤 由美子 (クリニカルアート野な美)
「0歳からの臨床美術はじまりのアートの活動」	岩崎 朋美 (アート & ヘルスケア臨床美術アトリエ苗) 梶谷 いずみ () フルイミエコ ()
「自閉症のアーティスト石村嘉成氏にとって美術とは何か」	三浦 美恵子 (国際医療福祉大学総合教育センター)
「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析 視覚刺激と絵画制作におけるNIRS計測スタディー」	保坂 遊 (東京家政大学)、宮島 祐 (東京家政大学) 澤田 めぐみ (東京家政大学)、杉本 英晴 (関西大学) 音山 若穂 (群馬大学大学院)、冨田 知里 (東京家政大学)

臨床美術士を訪ねて

臨床美術士の活動に対して感謝状が送られました！

●港区立障害保健福祉センター工房アミでのアート活動



写真左から
臨床美術士3級 田中雅子さん
臨床美術士3級 後藤三津子さん
臨床美術士3級 芥田恵子さん
臨床美術士2級 松岡純子さん
(東京都)

この度、私たち臨床美術士4名がアート活動講師として活動しております。東京都港区立障害保健福祉センター工房アミ様からのご推薦により、港区「第40回障害者週間記念事業」での感謝状をいただきました。

2009年4月、当時25名の工房アミの利用者さんと「満開の桜」からスタートしたアート活動は、季節感をふまえた毎月のプログラムの実施と、工房アミの全員参加を目的とする「東京都障害者総合美術展」への出品を主な目標として活動してまいりました。

現在40名の工房アミの利用者さんの年間活動は、臨床美術のアートプログラムの実施と共に、個人の意思を反映しやすいよう、様々な画材や道具を用いて“キャンバスに描く”制作を取

り入れております。また、一つの作品を工房アミ全員で制作し、美術展等に出品することも継続しております。

港区では障害者に対する理解と功績の顕著な企業・団体・および個人に感謝の意を表すことにより、障害者の自立支援・福祉の向上を図ることを目的としています。

私たちは上記の活動により、特定非営利活動法人日本臨床美術協会認定臨床美術士・アート活動講師として、感謝状贈呈企業等に認定、表彰されました。

これからも個性あふれる工房アミの利用者の皆さま、お一人お一人の自己表現の場としてのアート活動を、臨床美術士として4人で関わっていきたいと思っております。

●東京2020参画プログラム事業「臨床美術フェスティバル2020・2021」



臨床美術士2級
臨床美術「ほっかいどう」会長
特定非営利活動法人
アート・ウイズ・ライト臨床美術
(2022年1月現在申請中)理事長
土門 環さん(北海道)

臨床美術「ほっかいどう」は、北海道を拠点に現在52名で活動しています。

この度主催した「臨床美術フェスティバル2020及び2021」において、東京2020組織委員会より感謝状をいただくこととなりました。

2019年、臨床美術フェスティバルの会場を予約したその日に、2020年東京五輪（以下東京2020）のマラソン・競歩が札幌で行われることに決まり、「ワークショップの作品を持ってマラソンや競歩を応援できたら楽しいな」とイメージが膨らみ、早速東京2020を応援する参画プログラム事業を計画しました。しかし、新型コロナウイルスにより東京2020は延期となり、「翌年こそは」と新たにアートプログラム「つながるTOOL



(ツール)」を作成し準備を進めました。

2021年8月、東京2020はコロナ禍で開幕したものの、臨床美術フェスティバルの開催予定日に緊急事態宣言が発令される事態となりました。急遽、対面ワークショップをリモートに変更、作品展会場では黙鑑賞を呼びかけるなどの対策をすることで開催を決めました。

当日は、臨床美術に興味のある方々や、臨床美術士を目指す方、臨床美術士との交流を求めるとの出会いがありました。対面のワークショップを望む方々には10月に改めて開催したところ、その後、各地のアート教室に参加する方が増えました。

また、会報誌Vol.1を発行するなど、会の目的とする会員自らが参加し、繋がる事業となりました。

2022年度「ZOOMお試し会」(参加費無料)

前号のJCAA61号に掲載された「ZOOM入門編」(P3～12)を見ながら、ZOOM(オンライン)にトライしてみませんか。

オンラインには抵抗感がある、パソコン操作は苦手だし、ZOOMやったことないし…と思って今まで敬遠してきた方も、この機会に参加してみたい方が多いと思います。最初は誰でも初めて。ZOOMの基本的な操作を分かりやすく説明していきますので、一つひとつ操作しながら確認していきます。

是非無料お試し会に参加してオンラインの交流会や研修会に参加してみましょう。

第1回：5月8日(日) 11:00～12:00

第2回：10月16日(日) 11:00～12:00



職業別交流会 (参加費無料)

臨床美術はさまざまな現場で、また、さまざまな方々を対象に実施されています。そこで、今回は「作業療法士」と「保育士」に焦点をあててオンライン交流会を開催いたします。

臨床美術士で作業療法士や保育士の資格を持っている方、自分は資格はもっていないけれど作業療法士や保育士の方たちと一緒に仕事をしている、病院や施設、保育園などの現場をもっている、これから一緒に臨床美術をしたい、病院や施設、保育園などに営業をかけたい…など、作業療法士や保育士に接点がある方、持ちたい方、皆で集まって臨床美術の可能性を探るべく情報交換会をしませんか。

開催日時 ・ 作業療法士編 6月19日(日) 16:00～17:30

・ 保育士編 8月28日(日) 16:00～17:30

上記2講座の参加申し込み方法

下記のURLまたはQRコードからアクセスし、申込みフォームに入力の上、送信してください。

<https://forms.gle/tGw1p6cLW22qHAb98>



表紙掲載

アートプログラム紹介

この春、新たにBESTシリーズに加わったおススメのアートプログラムをご紹介します!

BESTシリーズ 最新アートプログラム【E-43】

「扇面ゆるりさんぽ」

思い出の街や四季の野山など、道を散歩する気分で描いた墨を散歩道に見立て、その周辺の風景を思い出しながらスポイトボトルで色を散らすことで、道のある風景を俯瞰したアナログ表現を楽しめます。さらに画面を扇形にトリミングして和風の雰囲気のある屏風に仕立てます。

●完成作品サイズ：36.4cm×25.7cm

アートプログラム販売中!

お申し込みはこちらから → <http://www.zoukei.co.jp/shop/artprogram/>



協会からのお知らせ

2022年度 オンライン定期総会のお知らせ

2022年度オンライン定期総会を開催いたします。

- 日時：2022年5月29日(日)16:00～17:30
- 議案：(1)2021年度事業報告と収支計算について
(2)2022年度事業計画と予算について
(3)その他

出欠の連絡をお願いします

同封しております「定期総会出欠はがき」に出欠を明記し、ご署名ご捺印の上、5月8日(日)までにご返送をお願いいたします。尚、個人情報保護のため同封の保護シールを貼ってご返送ください。

また、欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。委任状を提出すると出席者と同様に資格更新制度の単位取得対象となり取得単位数は5単位となります。

2022年度会員証について

2022年2月28日(月)までに年会費をお支払い頂いた方に、2022年度会員証を同封しております。

尚、コンビニエンスストア専用支払伝票にてお支払いされた場合、入金の確認までお時間がかかる場合がございますので、確認出来次第、会員証を送付させていただきます。

※会員証の有効期限は、2022年4月1日～2023年3月31日です。

《会員証の確認と取扱いについて》

- ① ご自身の会員証の記載内容(お名前・認定級・会員番号・次回資格更新日)について、相違がないかご確認ください。
- ② 「会員証」はストラップケースに入れ、臨床美術を実施される際、交流会・研修会等に参加する際には、認定バッジと共に必ず着用してください。
- ③ 紛失等による会員証の再発行には手数料500円(税別)と、別途送料がかかります。

資格更新期間延長について

JCAA(News61号)、メールマガジン、ホームページ等でご案内させて頂いた通り、コロナ禍において活動が制限される状況を考慮し、資格更新申請期限を1年間延長することといたします。2022年度会員証に新たな資格更新日が記載されておりますので、ご確認の程お願いいたします。

2022年度年会費のお支払いがお済みでない方

年会費のお支払いがお済みでない方は下記までお早めにお振込みください。年会費が未納の場合、臨床美術士の名称を名乗れなくなり、協会会員の特典が受けられなくなります。

2022年度年会費 11,000円(税込)

特定の「振り込み用紙」はございませんので、ATMもしくは金融機関窓口にてお支払いください。

●郵便局からの場合

郵便振替口座 00150-4-740354

●他金融機関からの場合

ゆうちょ銀行
〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)
当座 0740354

特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

*通信欄に「氏名」「会員番号」をご記入ください。

2022年度講座等について

協会主催の講座につきましては、同封のチラシ、メールマガジン、ホームページ等でご確認ください。

指定校からのお知らせ

東北福祉大学 地域創生推進センター 地域創生推進室 仙台元気塾

- 臨床美術士養成講座 5級取得コース 2022年10月期開講予定
- 4級取得コース 2022年 5月期開講予定
- 3級取得コース 2022年 7月期開講予定



※詳細が決まり次第、下記ホームページでご案内いたします。QRコードからもアクセス可能です。

<https://www.clinicalart.com/>

【申込窓口】東北福祉大学 地域創生推進センター 地域創生推進室 仙台元気塾 TEL: 022-742-2886

ひろしま美術研究所

■臨床美術士養成講座

5級取得コース

2022年5月期	5/8(日)	5/22(日)	5/29(日)	6/12(日)	6/26(日)	締切: 4/22(金)
2022年9月期	9/11(日)	9/25(日)	10/9(日)	10/23(日)	10/30(日)	締切: 8/26(金)

【申込窓口】ひろしま美術研究所 TEL: 082-506-3060 E-mail: ach@art-hiroshima.com

※各地の最新の研修会情報は芸術造形研究所のホームページでもご確認いただけます。

芸術造形研究所からのお知らせ

■臨床美術士養成講座

通学	5級 2022年7月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全6回	会場: 東京	締切: 6/22(水)
	5級 2022年短期集中	夏季特別クラス	全5回	会場: 東京	締切: 7/14(木)
	5級 2022年10月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全6回	会場: 東京	締切: 9/28(水)
	5級 2022年短期集中	冬季特別クラス	全5回	会場: 東京	締切: 11/17(木)
	4級 2022年7月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全9回	会場: 東京	締切: 6/29(水)
	4級 2022年短期集中	秋季特別クラス	全7回	会場: 東京	締切: 8/25(木)
	4級 2022年10月期	水曜日クラス or 土曜日クラス	全9回	会場: 東京	締切: 9/21(水)
	3級 2022年11月期	金曜日クラス	約10カ月	会場: 東京	進級審査締切: 10/21(金)
通信	5級 2022年6月期	6/24(金)・25(土) スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom開催	締切: 6/2(木)
	5級 2022年7月期	7/9(土) スクーリング(対面)	1日間+5カ月	会場: 東京	締切: 6/16(木)
	5級 2022年9月期	9/22(木)・23(金) スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom開催	締切: 9/1(木)
	5級 2022年10月期	10/16(日) スクーリング(対面)	1日間+5カ月	会場: 京都	締切: 9/22(木)
	5級 2022年12月期	12/9(金)・10(土) スクーリング(オンライン)	2日間+5カ月	Zoom開催	締切: 11/17(木)
	4級 2022年5月期	5/7(土)・8(日) スクーリング(対面)	2日間+6カ月	会場: 東京	締切: 4/14(木)
	4級 2022年8月期	8/19(金)・20(土) スクーリング(対面)	2日間+6カ月	会場: 東京	締切: 7/28(木)
	4級 2022年11月期	11/26(土)・27(日) スクーリング(対面)	2日間+6カ月	会場: 東京	締切: 11/2(水)
オンライン	5級 2022年5月期	金曜日クラス 日曜日クラス	全6回	Zoom開催	締切: 4/21(木)
	5級 2022年8月期	金曜日クラス 日曜日クラス	全6回	Zoom開催	締切: 7/28(木)
	5級 2022年11月期	金曜日クラス 日曜日クラス	全6回	Zoom開催	締切: 10/13(木)
	4級 2022年5月期	火曜日クラス 土曜日クラス	全9回	Zoom開催	締切: 4/26(火)
	4級 2022年8月期	火曜日クラス 土曜日クラス	全9回	Zoom開催	締切: 8/2(火)
	4級 2022年11月期	火曜日クラス 土曜日クラス	全9回	Zoom開催	締切: 11/1(火)
	3級 2022年6月期	水曜日クラス	約7カ月	Zoom開催	進級審査締切: 5/18(水)

※東京校では上記講座の他、感性アートゼミ(通学・オンライン・通信)など、各種講座、研修会も開講します。

詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問合せください。

申込窓口 → 芸術造形研究所 TEL: 03-5282-0210 E-mail: school@zoukei.co.jp

※本誌記載の講座につきましては、中止または変更になる場合があります。予めご了承ください。



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

【事務局】

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階
TEL. 050-6865-3701 FAX. 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp <http://www.arttherapy.gr.jp>

臨床美術JCAA ニュース 第62号 2022年3月25日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。